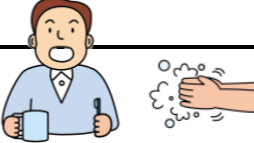




診療計画説明書

リツキサン+THPCOP

終了基準	・37.5度以上の発熱がない ・排便が1回/1~2日はある ・退院後の日常生活の注意点が理解できる				
経過（病日等）	リツキサン前日	1日目（リツキサン療法）	2日目〔THP-COP療法〕	3日目～	14日目
月/日	/ ~ /	/	/	/ ~	/
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 不安が表出でき前向きな発言ができる 治療について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> 感染管理ができる 正しく内服できる 点滴部位が痛い時や異常を知らせることができる 			→
処置	<ul style="list-style-type: none"> 採血 胸部レントゲン 心電図 身長・体重測定 骨髄穿刺 	<p>リツキサン療法</p> <ol style="list-style-type: none"> 点滴のチューブを留置します リツキサン治療中は主治医の指示にて心電図モニターを装着します リツキサン投与30分前に、アレルギー予防のために二種類の薬を内服していただきます 3を内服し30分後より、治療を始めます 状況に応じて徐々に点滴の速度をあげていきます この治療は、輸液ポンプという機械を使用しながら行ないます 途中で警報ブザーが鳴ることがありましたら、ナースコールでお知らせください また、トイレなどの移動時は、点滴棒が重たくなりますので、転倒に注意してください 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴チューブが入っていない場合は、医師が挿入します 主治医の指示に従い点滴を始めます（だいたい6時間程度かかります） 点滴チューブは翌日予定が無ければ抜針します 朝よりプレドニンの内服が開始となります 朝（ ）錠 昼（ ）錠 夕（ ）錠 5日間続きます 主治医の指示にて毎食前に血糖測定を開始します 		
薬剤	<ul style="list-style-type: none"> （初回入院時にはあります） （外来で行うこともあります） 				
検査					
食事	<ul style="list-style-type: none"> 通常の食事です 	<ul style="list-style-type: none"> 低菌食を提供します 	<ul style="list-style-type: none"> 治療にて食欲が落ちる場合はアシスト食を用意しております 担当看護師にお申し出ください 水分は多めにとってください （目安としては、1日600～1000ml） 		
安静度	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません 骨髄穿刺施行後は20～30分安静臥床していただきます 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には自由ですが、輸液ポンプのトラブルを防ぐためにも、治療中は病棟内でお過ごしください 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には自由ですが、トラブルを防ぐためにも、治療中は病棟内でお過ごしください 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> トイレはウォシュレットをご使用ください 便秘や下痢になるようであればお知らせください 				<p>＜日常生活の注意点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> うがい・手洗いはそのまま続けてください 人混みに行くのは、出来るだけ避けてください 指示された内服薬は確実に服用してください 熱が出たり・具合が悪い時、昼間は内科外来、夜間は救急外来を受診してください
清潔	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません うがい、手洗いはこまめに行いましょう（起床時・毎食後・寝る前等） 	<ul style="list-style-type: none"> 治療開始前にシャワー浴をすることができます 			
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 治療について医師から説明があります ご不明な点は、主治医、看護師にお尋ねください 	<ul style="list-style-type: none"> リツキサン投与時、アレルギー予防のための内服薬を服用していても、以下の症状が出現する場合がありますので、現れましたらナースコールでお知らせください 《発熱、悪寒、ふるえ、全身のかゆみ》 点滴刺入部の痛み、発赤、点滴落下不良などがありましたらお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> 治療後熱が出たりすれば、抗生物質の投与をすることもあります 白血球が下がっている場合は増やす注射を使用することもあります 医療費について相談があれば、お申し出ください 		

※ 病名は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得ます

※ 入院期間や治療内容は現時点で予測されるもので症状により変わります